



さてさて、むたくしも妙義にやってきました半年経ちました。

妙義のいろんな文化にも慣れてきたところで、前々から取り上げ「たかた」テーマにとうとう着手します。

## 妙義の方言



言葉は文化をつくり、文化は言葉をつくります。土地の文化は

そこに住む人々の言葉に宿るのです。というわけで、これを機に皆さんも妙義の方言を覚えて妙義マスターに一歩前進して下さいませ!

おこじはん → おやつ, 間食

けーど → 糸田道

おこんじょ → いじわる

そうだいね! → そうだね!

おやげねえ → かわいそう

なっから → たくさん

おくり → 奥

あんじゃーね → 大丈夫よ

おっぺす → 押す

たてっけーし → 2日のおきりこみ  
2日目の湯の風呂

なまゝい → ゆまゝい

かんます → かきませる

食ベリー → 食ベな

鍵をかう → 鍵をかけろ

ほとばす → 水にひたす

ぶっちゃろ → 捨てる

よいじやねー → 容易ではたない

行き会う → たまたま会う

わけえし → 若者

ひね → 古い

ワクサ → カメムシ

いくじ? → 何時?

← このあたりは THE 妙義弁(?) というかんじで地元の皆さんも「あーそうね」「わかろー」となると思います。ここからは「え、コレ方言なの!？」と地元では当たり前に使ってるけど実は方言シリーズです。

お大事なさい → お大事にして下さい

そうすれば → そうしましたら

フォーマルな場など、キチとした場面でご使ってくださいませ。

行ってみませ → そろそろ帰ります

のどがは、うく → 咳こぼ

聞き慣れずと意味も分かれ「カワイねー」と思うのですが、初めて聞いたときは「行ってみる?」ど、どこに?? 帰ったー!!」とかカルチャーショック(?) がありました。方言っておもしろい!

あとは全部は書ききれませんが、

やはり養蚕関係の言葉がとて多い。

妙義は製糸というよりお蚕さんを育てる場所でした。だからお蚕さんの状態を呼ぶ言葉がたくさん方言の中にあります。文化は言葉をつくる、がよーく分かりますね!

おかいこ → 蚕

おこさま → 蚕

ぶーた → くずまゆ

たれこ → 茶色くた

腐り蚕

あたまめき → 空頭蚕

ほしい → 石更化蚕

おくれご → 成長の遅い蚕

かたご → 背中に模様のある蚕

がう

がうさま → 熟蚕

おおまい → 蚕二匹が一つの繭を作る、たとき大型の繭。

おきこ → 眠りから覚めた蚕

かぜんめえ → 桑の中へ作った繭

こば → 稚蚕飼育場

最後に個人的におもしろい! と思った言葉が、★に関する言葉があること!! これは私のいた関西では絶対ないこと。古代、大和朝廷では星を見ることは禁じられていたんです。朝廷から遠く離れた、渡来人も

多く住んでいた土地だからこそ、このあたりの人々は平和に夜空をながめろ文化があったのかもしれません。

さんじょうほし → オリオン座の三つ星

ちかほし → 月のすぐそばに出る星

ななつほし → 北斗七星

ひぐれにやうどうさま → 宵の明星

そばに出る星と人が死ぬって言われている。こー

言葉から言売れとね。妙義の文化もロマンあるねえ! 拜